

こうしよ

自動車技術会関東支部報
〈高翔〉

No. 30 1998
OCTOBER

- 古代からの情報発信
- かわら版は災害情報をどう伝えたか
- 霊長類の社会とコミュニケーション
- 衛星利用の通信と放送
- テレワーク
- 情報と暗号化技術
- 安全交通とコミュニケーション
- 自動車とコミュニケーション

特集 コミュニケーション





特集 コミュニケーション

関東支部長就任に当たって 3
●有馬光彦

〈特集〉 コミュニケーション

古代からの情報発信——水平線に黒曜石を求めて 5
●池谷信之

かわら版は災害情報をどう伝えたか 9
●北原糸子

——江戸の情報メディアとコミュニケーション——

霊長類の社会とコミュニケーション 13
●杉山幸丸

衛星利用の通信と放送——その現状と将来 17
●泉 武博

テレワーク——電子メディアが仕事をを変える 22
●首藤正道

情報と暗号化技術 27
●松本 勉

安全交通とコミュニケーション 30
●平松金雄

自動車とコミュニケーション技術——変遷とその将来像 35
●樋口健治

甘口・辛口——リレーエッセイ 26、34
●石川康雄、河原 寛

支部通信——ワイワイブラザ 40

あとがき 44

〈表紙〉

江戸時代のかから版「鯨絵」。かわら版は、この時代の
匿名のニュース媒体としてよく知られているが、その一
つのジャンルとして鯨絵が多数出版された。地震の象徴
である鯨が江戸の庶民にどのように受けとられ、変化し
ていったか。くわしくは、本文「かわら版は災害情報を
どう伝えたか」をお読み下さい。

「鯨絵」 東京都立中央図書館東京史料文庫所蔵